

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	公園課長 田沼 滋哉	
都整-37	実施事業	公園維持管理事業	☒ 自治事務	主管課 公園課
			☐ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針	都市公園等の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	公園緑地等の適切な維持管理を図るため。
効果	適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
経年劣化により撤去した遊具などの交換及び市民要望による公園施設の設置等を行い公園の整備を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算	備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	
事業の対象者数	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	事業の対象者数	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
						81,150世帯	
運営資源状況	決算値(千円)	293,226	309,275		当初予算(千円)	329,430	
	国県支出金				国県支出金		
	地方債				地方債		
	その他	19,404	25,031		その他	16,632	
	一般財源	273,822	284,244		一般財源	312,798	
	人員配置数	2.0	2.3		人員配置数	3.0	
事業経費運営	人件費(千円)	15,271	17,907		人件費(千円)	23,048	
	総事業費(千円)	308,497	327,182		総事業費(千円)	352,478	
	市民1人当りの経費(円)	1,741	1850		市民1人当りの経費(円)	1,997	
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
	協働実施済の場合のパートナー	公園愛護会や鎌倉広町緑地で保全活動を実施している団体等
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		都市公園等について、指定管理者による維持管理を実施。長寿化計画に基づき遊具等の修繕を進めた。老朽化の進んでいる公園施設について、早期に修繕を実施していくにあたり、予算的措置が必要となる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	指定管理者による維持管理については、従前どおり実施していくが、管理内容等には改善の余地がある。 ここ数年でさらに管理する公園が増加していることから、予算の削減は困難である。 市民等との協働事業を円滑に実施しているが、今後はより円滑な事業遂行を目指していく。	

